



2012～2013年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2012～2013年度
国際ロータリー・テーマ

奉仕を通じて平和を
Peace through Service

国際ロータリー会長
田中作次

国際ロータリー2720地区 中津平成ロータリークラブ

会長 渡邊 文敏 幹事 辛嶋 崇 会報担当 浪治 豊 二反田新一 クラブ広報委員長 長野 定生

例会日/毎週木曜日 12:30

例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

e-mail office@n-heisei.org

<http://www.n-heisei.org/>

第1094回例会 平成24年11月8日(木)

●本日の例会プログラム ゲスト卓話「酸素カプセル メディカル」
進 和美氏

◎次回例会プログラム ゲスト卓話「シロアリ駆除と家屋の管理について」
三協消毒 猿渡 義孝氏



前回(1093回例会)の記録

平成24年11月1日(木)

■ゲスト

■ビジター

東納栄一氏(中津中央RC)

■出席報告

会員数	24名
免除者数	2名
対象者数	22名
本日出席者	12名
欠席者数	10名
出席率	54.55%

■前々回出席報告の修正

前々回欠席者	5名
メイクアップ	3名
欠席者	2名
修正出席率	78.26% → 91.30%

●メイクアップ

仲本(姉妹交流10/27)、清源(中津中央RC10/16)
長野修士(姉妹交流10/27)

●欠席者

宇都宮、松本

◎ロータリーソング 君が代、奉仕の理想

◎会長の時間 会長 渡邊文敏

加古川の姉妹交流会には大勢でのご参加を頂きありがとうございます。姉妹交流委員長の長野さんには旅行の手配など完璧にいただき感謝しています。お陰で楽しい旅行が出来ました。ガバナー公式訪問、姉妹交流会と大きな行事が皆さんのご協力です。残すところ12月20日の合同忘年会は中津平成の担当です。ご協力宜しくお願いします。



さて今日から11月、今年も残すところ2ヶ月となりました。インターネットなどでは、早くも年末恒例の12月に発表される流行語大賞の話題が出ています。第一候補として、まずはお笑い芸人スギちゃんの「ワイルドだろ～」でしょう。ついで932年ぶりに日本中で観測さ

れた「金環日食」や高さが世界一の新名所「東京スカイツリー」でしょう。これらと並んで有力候補と目されているのが野田首相の「近いうちに」発言ではないでしょうか? 8月、一体改革関連法案の3党合意で「近いうちに信を問う」と解散を匂わせました。しかし、2ヵ月半たっても解散の気配もありません。今や「近いうちに」は約束違反の代名詞のようにいわれています。解散時期を明示しない首相に対し高村正彦自民党副総裁は「うそつき4冠王」などと批判していました。渦中の野田首相も29日所信表明演説を行いました。その中で、日本経済の再生、領土領海の保守に不退転の決意を示し、公債特例法案や「一票の格差」是正については、野党に共同責任を迫っています。首相は「明日への責任」を20回も強調し「動かない政治を監視し、背中を押して欲しい」とか「明日への責任」は「明日の安心」を生み出すと訴えました。又、子や孫たち将来世代のため「やみくもに政治空白を作っ



2012～2013年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2012～2013年度
国際ロータリー・テーマ

奉仕を通じて平和を
Peace through Service

てはいけない」と、暗に解散の先送りをにじませました。今年の流行語大賞に「近いうちに」が選ばれましたら、野田首相は昨年の「どじょう内閣」に続く受賞となります。ただ、約束破りを意味するだけに子や孫たちにあまりお勧めできそうにありません。

◎幹事報告 幹事 辛嶋 崇

●例会変更 宇佐2001RC

●週報受理 仙台平成RC、竹田RC

●週報お礼 森田パストガバナー

●報告事項

- ・第2回会員増強セミナー開催のご案内
- ・11/22 (木) 例会、向笠公園清掃、出欠回覧



◎委員会報告 奉仕プロジェクト委員長

職業奉仕担当 梶原会員

12月プログラム第1週のプログラムで、「私の職業奉仕」と題して、会員1人5分でお話をいただきます。卓話の時間30分を使いますので、1例会6人となります。順番は名簿の後ろからまいります。12月6日(木)の例会は、小路、出納、若松、宇都宮、渡邊、矢頭各会員となります。どうぞよろしく願っています。

◎ニコニコボックス

[岡野会員] 本日はロータリー財団の卓話をさせていただきます。よろしく願っています。

[渡邊会長] 総勢19名参加で楽しい姉妹交流会でした。ありがとうございました。来年は土居会長年度となりますが、中津平成RCが担当です。

[土居会員] 本日は出席者数が少なくてさびしく思います。姉妹交流で、加古川RCの例会に出席したせいでしょうか。次年度もこの時期に開催を予定したいと思います。姉妹交流は、姉妹クラブのメンバーとお会いするのも意義ある楽しいものですが、また、中津平成RCのメンバーと泊まり込みで二日間一緒に過ごせて、いろいろなお話をさせていただいたことも良い経験になりました。担当の長野修士会員、お世話をありがとうございました。

[辛嶋幹事] 私も姉妹交流に行って参りました。お天気が心配でしたが、雨が降ることもなく、大阪湾クルーズ船でのフルコースランチも良い思い出になりました。姉妹交流担当の長野修士さんはまるで添乗員のようにお世話を頂きました。おかげで皆楽しく旅程を終えることができました。ありがとうございました。

[若松会員] 最後に、姉妹交流に参加して疲れが今日あたりから出てきました。(笑)本日は申し訳ございませんが、所用で早退させていただきます。

◎会員卓話

「ロータリー財団について」

岡野重信会員



ロータリー財団について

平成24年11月1日

(主な参考資料) ① R12650地区(京都、福井、滋賀、奈良)
R情報マニュアル編集委員会編
「ロータリー情報マニュアル」改訂版
② 手続要覧 2010年版

卓話 会員 岡野重信

- ロータリークラブの創立
1905年 イリノイ州シカゴ
ポール・P・ハリス(弁護士)と
シルベスター・シール(石炭商)、
ガスターパス・ローア(鉱山技師)、
ハイラム・ショーレ(衣類立業)。
その翌年につくられた定款には、会員の「事業利益の拡大を図ること」が規定されていた。
その後、組織が拡大し、社会的な影響力を持つようになるとともに、「合法的職業の尊重と、各会員が自己の職業を通じて社会に奉仕すること」がクラブの目的となってゆく(その趣意は、R情報マニュアル 540頁以下)。
- 第一次世界大戦とライオンズクラブの創立
第一次世界大戦(1914～1918)の最中である1917年、ダラスRCの会員が脱会して、ライオンズクラブを創立した。
各会員が最大限の利益を上げ、これを社会奉仕として還元することを目的とする。ちなみに、日本でのRCの第1号は東京RC(1920年)、LCのそれは東京LC(1952年)。
- ロータリー財団
同財団の前身である「ロータリー基金」が、ライオンズクラブの創立と同じ1917年、アトランタ大会で設置された。
「お金を出し合って、皆で何か良いことをする。」という共通の意識。
これらの動きは、戦場となったヨーロッパの難民や地域の荒廃に対し、救済や復興支援が必要という認識と無関係ではないとされている。
なお、RCは、最初アメリカ国内の団体であったが、1911年、イングランド、アイルランドにもRCが設立されたことから、1912年に組織を「ロータリークラブ国際連合」と変更し、さらに1922年、現在の「国際ロータリー(通称RI)」に変更した。
「ロータリー基金」を提唱したのは、「ロータリークラブ国際連合(当時)」のアーチ・クランプ会長(米国)。

「ロータリー財団」は、1928年のRI国際大会で発足し、1931年に寄付金を運用する信託組織となり、1933年にイリノイ州法による非営利法人となった。

④ 決議 23-34

1923年RI国際大会(セントルイス)での第34号決議案として可決。
ロータリークラブは、会員の個人的な職業奉仕を通じて社会に貢献することを基本とすることに変わりはないが、そのほか団体としての社会奉仕活動も否定しないという内容で、ロータリークラブの、ひとつの転換点とされている。要覧114頁以下に全文とその説明がある。
「ロータリー財団」は、この決議によるRIの「団体として社会奉仕」を現実化するために設立されたことになる。

⑤ ロータリー財団の資金

キリスト教社会と「チャリティ」の文化

- 寄付 (要覧81～83頁) 自発性の尊重
- 年次プログラム基金
- 恒久基金
- ポリオ・プラス基金
- 個人寄付の認証
- ポール・ハリス・フェロー
- ポール・ハリス・フェローの名称廃止(1998)と「財団の友」
- マルチブル・ポール・ハリス・フェロー
- ベネファクター(後援者)

⑥ ポリオ・プラスについて

(1985年に「はしか」「ジフテリア」「破傷風」「百日咳」「結核」を追加)
RI理事会(1978)の「3Hプログラム」。
1979年フィリピン「ザビ」・セントス(パストガバナー)によるポリオ免疫接種事業実施の要望により、R財団の事業として実施。
ロータリー100年祭の2005年までに、全世界の子供の免疫接種を完了させる計画で、目標をはるかに上回る資金を集め、西太平洋地域、ヨーロッパ地域ではポリオ根絶宣言(WHO)がなされたが、全世界規模では未達成。
現在なお計画進行中。未達成地域 インド、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンその他。

以上